



スキャンしてマニュアルを入手

KDS-EN7、KDS-DEC7 クイック スタート ガイド

このガイドは、KDS-EN7 および KDS-DEC7を初めてインストールして使用するのに役立ちます。

<http://www.kramerav.com/downloads/KDS-EN7>

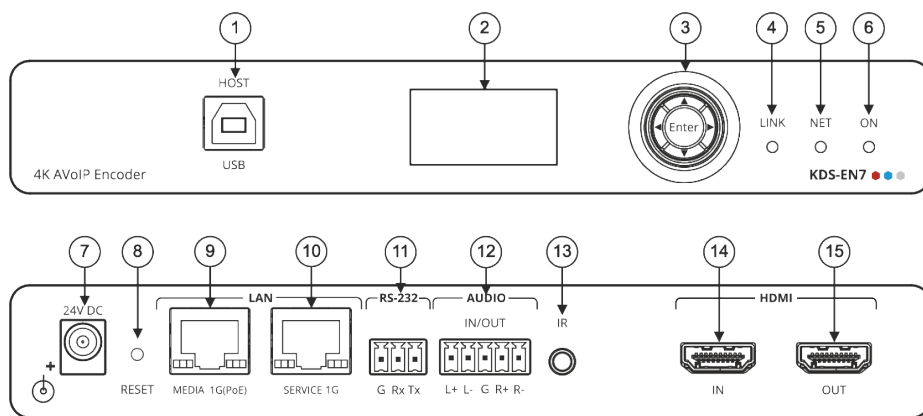
<http://www.kramerav.com/downloads/KDS-DEC7> にアクセスして最新のユーザーマニュアルをダウンロードし、ファームウェアのアップグレードが利用可能かどうかを確認してください。

ステップ 1 : ボックスの内容を確認する

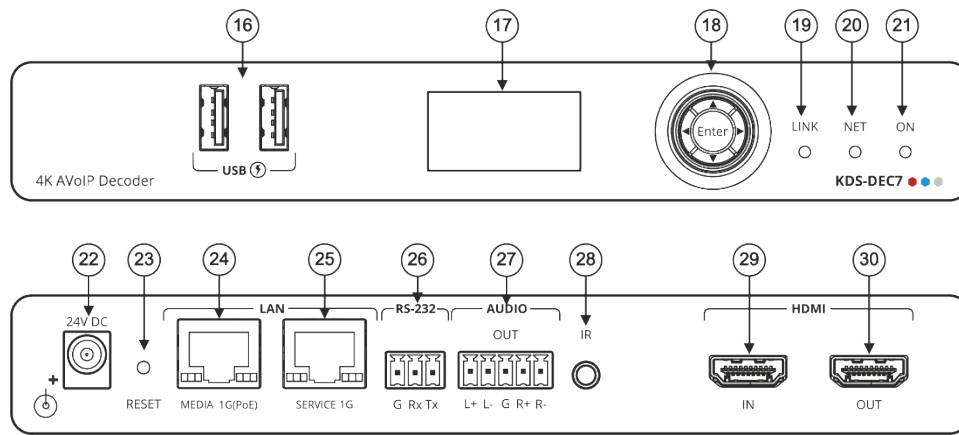
- ✓ KDS-EN7、KDS-DEC7 4K エンコーダー/デコーダー
- ✓ 1 取付用ブラケットセット
- ✓ 1 クイックスタートガイド

ステップ 2 : KDS-EN7、KDS-DEC7 の説明

KDS-EN7



No.	機能	説明
1	HOST USB Type B ポート	KVM/USBサポート用の PC などの USB ホストに接続します。
2	LCD ディスプレイ	エンコーダーでの独自のチャンネル/AV ストリーム設定やデコーダーでのチャンネル調整などのデバイス設定に使用します。
3	Menu ナビゲーション ボタン	◀ 押すと、前のメニューに戻ります。
		▲ 押すと、次の設定パラメータに上方移動します。
		▶ 押すと、次のメニューに進みます。
		▼ 押すと、次の設定パラメータに下方移動します。
		Enter 押すと、変更を受け入れます。
4	LINK LED	LEDの機能を参照
5	NET LED	LEDの機能を参照
6	ON LED	LEDの機能を参照
7	24V DC コネクタ	電源アダプタ (別売り) に接続します。
8	RESET 凹型ボタン	10秒間押し続けると、本機は工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。すべての LEDが点滅します。
9	LAN MEDIA 1G(PoE) RJ-45 ポート	ユニキャスト：ストリーミングのためにデコーダに直接接続するか、LAN 経由で接続します。 マルチキャスト：複数のデコーダに接続するか、SERVICE (1G) ポート経由で複数のデコーダがダイジーチェーン接続されている 1台のデコーダに接続します。
10	LAN SERVICE 1G RJ-45 ポート	セキュリティと信頼性を目的として、AV ストリームとコマンド ストリームを物理的に分離し、LAN を分離するためにオプションで使用されます。
11	RS-232 3ピン ターミナルブロック コネクタ	RS-232 機器に接続して、ゲートウェイおよび双方向信号延長として使用します(AV 信号が延長されていない場合でも)。
12	AUDIO IN/OUT 5ピン ターミナルブロックコネクタ	バランス アナログ ステレオ 音声ソース/アクセプターに接続します。
13	IR 3.5φ ミニジャック	双方向信号延長のために IRセンサーまたはエミッターに接続します (AV信号が延長されていない場合でも)。IR受信機の期待電圧 - (3.3V)。
14	HDMI IN コネクタ	HDMIソースに接続します。
15	HDMI OUT コネクタ	入力HDMI信号のループ出力です。



No.	機能	説明	
16	USB Type A ポート	キーボードとマウスを接続します。	
17	LCD ディスプレイ	電源を入れると、最後のビデオソースが表示されます。デバイス情報表示と設定に使用します。	
18	Menu ナビゲーション ボタン	◀	押すと、前のメニューに戻ります。
		▲	押すと、次の設定パラメータに上方移動します。
		▶	押すと、次のメニューに進みます。
		▼	押すと、次の設定パラメータに下方移動します。
		Enter	押すと、変更を受け入れます。
19	LINK LED	LEDの機能を参照	
20	NET LED	LEDの機能を参照	
21	ON LED	LEDの機能を参照	
22	24V DC コネクタ	電源アダプタ (別売り) に接続します。	
23	RESET 凹型ボタン	10秒間押し続けると、本機は工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。すべての LED が点滅します。	
24	LAN MEDIA 1G(PoE) RJ-45 ポート	ストリーミング用に接続します。	
25	LAN SERVICE 1G RJ-45 ポート	オプションで、セキュリティと信頼性を強化するために、AV ストリーム (MEDIA) とコマンド ストリーム (SERVICE) の間に物理的な分離をするために使用します。	
26	RS-232 3ピン ターミナル ブロックコネクタ	RS-232 機器に接続して、ゲートウェイおよび双方向信号延長として使用します (AV 信号が延長されていない場合でも)。	
27	AUDIO OUT 5ピン ターミナル ブロックコネクタ	バランス アナログ ステレオ音声アクセプターに接続します。	
28	IR 3.5φ ミニジャック	双方向信号延長のために IR センサーまたはエミッターに接続します (AV 信号が延長されていない場合でも)。IR 受信機の期待電圧 - (3.3V)。	
29	HDMI IN コネクタ	HDMI ソースに接続します。あるいは、デコーダへのバックアップ入力として使用できます。	
30	HDMI OUT コネクタ	HDMI アクセプターに接続します。	

LEDの機能

KDS-EN7 および KDS-DEC7 LED は次のように機能します：

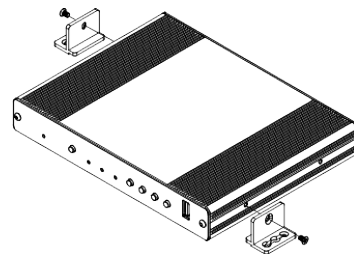
LED	色	説明
LINK LED	緑色に点灯	KDS-EN7 と KDS-DEC7 の間にリンクが確立され、A/V 信号が送信されています。
	緑色に点滅	信号が確立されていて、問題が検出されました。
NET LED	消灯	IPアドレスが取得できません。
	緑色に点灯	有効なIPアドレスが取得されました。
	緑色に非常に速く点滅 (60秒間)	デバイス識別コマンドが送信されました (Flag me)。
	黄色に点灯	デバイスはデフォルトの IPアドレスに戻りました。
	赤色に点灯	セキュリティが IPアクセスをブロックしています。
ON LED	赤色に点滅	フォールバック アドレスを取得すると、ON LED が 0.5/10秒の遅い周期で点滅し続けます。
	緑色に点灯	通電中です。
	緑色にゆっくり点滅	スタンバイモードです。
	緑色に速く点滅	ファームウェアがFWはバックグラウンドでダウンロードされました。
	緑色に非常に速く点滅 (60秒間)	デバイス識別コマンドが送信されます (Flag me)。
	赤色に点灯	セキュリティが IPアクセスをブロックしています。

再起動後、すべての LED が 3秒間点灯し、通常の LED表示モードに戻ります。

ステップ3 : KDS-EN7、KDS-DEC7を設置する

次のいずれかの方法で、KDS-EN7、KDS-DEC7 を設置します：

- ゴム製の脚を取り付け、ユニットを平らな面に置きます。
- 本体の両側にブラケット（付属）を固定し、平らな面に取り付けます。
(<http://www.kramerav.com/downloads/KDS-EN7> を参照)



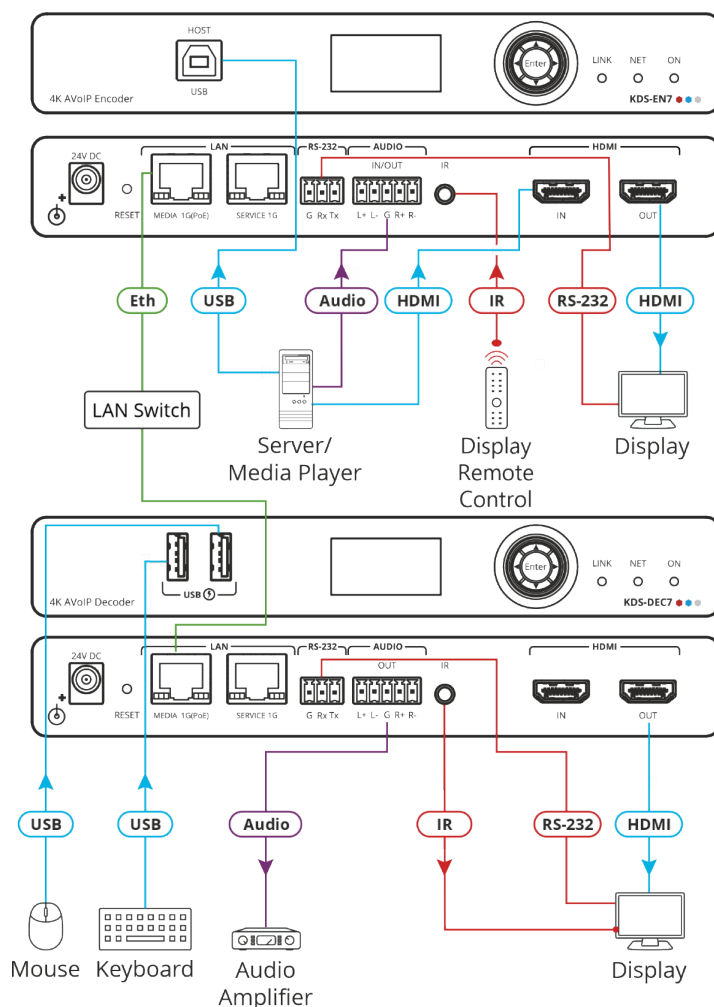
- 推奨のラックアダプタを使用して、本体をラックに取り付けます。
(see <http://www.kramerav.com/product/KDS-EN7> を参照)



- 環境（最大周囲温度や空気の流れなど）がデバイスに適合していることを確認してください。
- 不均一な機械的負荷を避けてください。
- 回路の過負荷を避けるために、機器の銘板定格を適切に考慮する必要があります。
- ラックマウント機器の信頼性の高い接地を維持する必要があります。

ステップ4 : 入力と出力を接続します

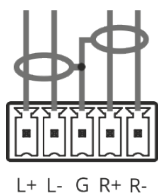
KDS-EN7、KDS-DEC7に接続する前に、必ず各デバイスの電源をオフにしてください。



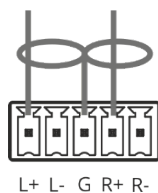
i KDS-EN7 および KDS-DEC7 は 4Kビデオをストリーミングできますが、高品質のパフォーマンスを得るには、ギガビットイーサネットスイッチが必要です。最大瞬間転送速度は850Mbpsに達します。マルチキャスト フォワーディングまたはフィルタリング、IGMP スヌーピング、IGMPクエリア、IGMPスヌーピング高速ループ、およびジャンボ フレーム (8000バイト以上) をサポートする AVoIP イーサネットスイッチを使用することをお勧めします。

音声入出力の接続

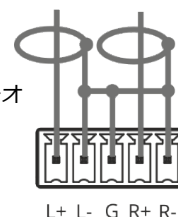
バランスステレオ
音声ソース/アクセ
プターへ：



アンバランスステレオ
音声アクセプタ
へ：



アンバランスステレオ
音声ソースへ：



i 仕様通りの延長距離を達成するには、<http://www.kramerav.com/product/KDS-EN7> で入手可能な推奨 Kramerケーブルを使用してください。サードパーティ製のケーブルを使用すると、仕様通りの性能が得られない、また損傷する可能性があります。

ステップ5 : 電源を接続します

デフォルトでは、デバイスは PoE を使用してデバイスに電力を供給します。オプションで、製品に接続して主電源に接続するための電源アダプタを別途購入できます。



安全上の注意（最新の安全情報については、www.kramerav.com を参照してください）

注意：

- リレー端子とGPI/Oポートを有する製品については、端子の横またはユーザーマニュアルにある外部接続の許容定格を参照してください。
- 本体内には、使用者が修理できる部品はありません。

警告：

- 本機に付属の電源コードのみを使用してください。
- 設置する前に、電源アダプタを主電源から外して電源を切ってください。

ステップ6 : KDS-EN7、KDS-DEC7 の操作

LCD画面メニューによる IPアドレスの割り当て

KDS-EN7 および KDS-DEC7 のデフォルトIPアドレスは；エンコーダの場合は 192.168.1.39、デコーダの場合は 192.168.1.40 です。デフォルトでは、DHCP が有効になっており、デバイスに IPアドレスが割り当てられます。

DHCPサーバーが利用できない場合、たとえば、デバイスがPCに直接接続されている場合、そのデバイスはデフォルトの IPアドレスを取得します。これらの IPアドレスがすでに使用されている場合、システムは 192.168.X.Y の範囲でランダムな一意の IP を検索します。割り当てられた IPアドレスは、LCD画面のメニューを使用して確認できます。

LCD画面メニューから IPアドレスを割り当てるには：

- デバイスを 24V DC電源アダプタに接続し、アダプタを主電源に接続します。ON LED が緑色に点灯し、LINK LED が点滅します（ストリーミング アクティビティが検出されていないことを示します）。
- ナビゲーション ボタンを使用して、割り当てられた IPアドレスを LCD 画面に表示します：
 - DEV STATUS > LAN1 Status
 - DEV STATUS > LAN2 Status (サービスポートも接続されている場合)。

チャンネル番号の設定

各エンコーダには一意のチャンネル番号が必要であり、接続されたデコーダはそのエンコーダ チャンネルに合わせる必要があります。チャンネル番号は、LCD画面メニューまたは内蔵Webページを介して設定できます。

LCD画面メニューから KDS-EN7 または KDS-DEC7 のチャンネル番号を設定するには：

- デバイスを 24V DC電源アダプタに接続し、アダプタを主電源に接続します。ON LEDが緑色に点灯し、LINK LED が点滅します（ストリーミング アクティビティが検出されていないことを示します）。
- 矢印ボタンを使用してチャンネル番号を変更します：
 - LCD画面メニューで、DEV SETTINGS > CH DEFINE に移動し、一意のチャンネル番号を設定し、Enter を押して選択を保存します。
 - 各デバイスに対して、設定されたチャンネル番号を選択します。

Webページからチャンネル番号を設定するには：

- イーサネット ポートをネットワークに接続し、デバイスに電力を供給します。
- 内蔵Webページにアクセスします。
- KDS-EN7 メインページ：
 - AVルーティングページに移動します。
 - Channel ID を選択し、チャンネル ID番号を設定します。
- KDS-DEC7 メインページ：
 - AVルーティングページに移動します。
 - 目的のエンコーダ チャンネル ID に対応するチャンネル ID を選択します。